

木ごころ塾 (群馬県)



<3つのポイント>

- ・教わるだけでなく、自ら制作する本物志向の木工教室。
- ・全12回/2年の教室を平成20年度から10年以上継続。
- ・世田谷区と川場村の協定による心と心の交流の場。

木ごころ塾は、木のぬくもりを感じ、確かな手しごとを学べる、初心者向けの木工体験教室です。この塾では、用途や見分け方など、木の特性を知ることから始まり、経験豊かな木工のプロから、加工するための技を学ぶことができます。昭和56年に東京都世田谷区と群馬県川場村が「区民健康村相互協力に関する協定(縁組協定)」を締結したことがきっかけで、このような場が創出されています。

<きっかけ>

昭和56年 世田谷区(東京都)と川場村(群馬県)が「区民健康村相互協力に関する協定(縁組協定)」を締結。区民と村民の心と心の交流を目的として、様々な交流事業を実施。その交流の場の一つとして、木ごころ塾を開講。

<目的>

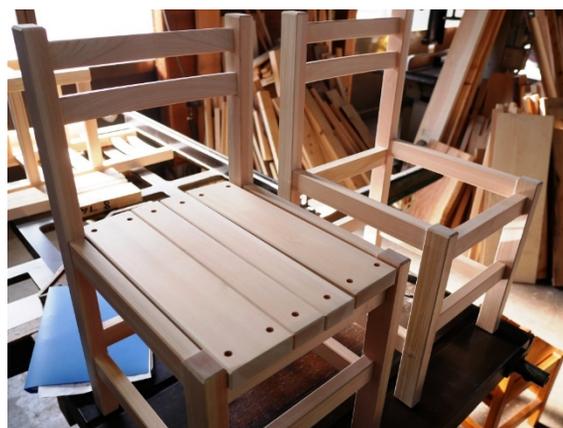
緑豊かな自然環境の中で、世田谷区民の健康増進及び余暇活動の充実を図る。

<内容>

この塾は、木材利用方法や本物志向を追求した木工教室で、木の種類や部位による使い方などを地元の木工職人から学ぶことができ、その知識や技術は家庭での創作機会へと広がり、木材利用促進に繋がる。

- ・開催場所: 利根沼田森林組合(川場村内)
- ・対象者: 16歳以上の世田谷区民・川場村民
- ・実施回数: 年間12回(1年目教室6回、2年目教室6回)
- ・最大定員: 各教室8名
- ・講座内容(一部)

- 第1回(5月)木の性質を学ぶ・加工手順を学ぶ
- 第2回(7月)手道具を学ぶ
- 第3回(9月)年間課題(イス)づくり



<実施体制>

主催者: 世田谷区、川場村
事務局: (株)世田谷川場ふるさと公社
指導者: 利根沼田森林組合

<成果>

- ・過去10年間(平成20年度～29年度)の年間延べ参加者数は447名。
- ・世田谷区と川場村の交流から、世田谷区内文学館リニューアル時に家具の一部を、講師である利根沼田森林組合の木工職人が手掛けている。

<経費>

経費: 816,000円(年間講師指導料)
財源: 世田谷区から408,000円・参加者負担408,000円
補助率: 50%

<関連法令>

世田谷区民健康村条例

<問い合わせ先>

群馬県川場村 TEL : 0278-52-2111

<ここに注目!>

自然豊かな川場村の人と都会に住む世田谷区民が「ものづくり」を通じて深く交流しています。都市住民が2年間かけてじっくり木に向き合い、自分で作りたいものを、設計からはじめて完成させる「ものづくり」を通じて、木やその地域への愛着が沸いてくるものと思われます。

<関連Webページ>

<http://www.furusatokousha.co.jp/enjoy/kigokoro.htm>